

外ヶ輪

令和4年2月
 第451号
 新発田市立外ヶ輪小学校
 e-mail:master@togawa.shibata.ed.jp
 URL:http://togawa.shibata.ed.jp

<こころ><思い>が見える

教頭 吉田直彦

「こころはだれにも見えないけれど、こころづかいは見える。
 思いは見えないけれど、思いやりはだれにでも見える。」

この言葉に聞き覚えのある方は、多いのではないのでしょうか。東日本大震災の後、テレビで何度も放送されたACジャパン（公共広告機構）のCMで使われていた言葉です。この言葉は、クリスマスソング「ジングルベル」の訳詞者でもある宮澤章二さんの「行為の意味」という詩をもとに作られたものだそうです。宮澤さんは、この詩の中で人に対する積極的な行為が、<こころ>や<思い>が見えるようにしている理由だと言っています。

先日、冬季オリンピック北京大会が開幕しました。県内からも多くの選手が出場し、活躍が期待されるところです。2月6日に行われたスノーボード女子スロープスタイルの決勝では、最後のニュージーランドの選手が見せた演技に、ライバルの選手たちが駆け寄って称賛を送る姿が放送されました。今までの頑張りや努力、最後まで諦めないで果敢に挑んだ姿勢を認め、互いを尊重し合う姿が、さわやかで感動的でした。

さて、令和3年度も残すところあとひと月半ほどになりました。外ヶ輪小学校では、2月末に5年生が中心になって「6年生ありがとう・さようなら集会」が行われます。先日、代表委員会が開かれ、計画がスタートしました。

在校生は、様々な制約の中で、表し方や伝え方を工夫して感謝の気持ちを、卒業していく6年生は、「6年生ありがとう・さようなら集会」や卒業式に向け、様々な人たちへの感謝の気持ちの表し方を考え、形にしていきます。

それぞれのこころや思いが重なるあたたかな会や式になることと思います。

立春を迎えましたが、外はまだまだ寒さ厳しい季節。みんなのあたたかな気持ちで、世の中に早く春がくるのを願いながら、見守っていきたいと思います。

校内書き初め大会



1月12日(水)に、校内書き初め大会が行われました。冬休みもたくさん練習をしてきた子どもたち。新しい年の始まりを意識しながら、一文字一文字に真剣に向き合いました。

校内書き初め展を開催することができず、保護者の皆様に作品を見ていただくことはできませんでしたが、どの子どもも心を込めた素敵な字を書き、学校に展示しました。



御協力ありがとうございました

保護者、地域の皆様に御協力いただいたアルミ缶回収の収益金で、UNO、トランプ、ソフトバレーボールを購入させていただきました。

UNOとトランプは、冬期間の室内遊びで、ソフトバレーボールは、体育の学習や休み時間等で有効に活用させていただきます。御協力ありがとうございました。



オンライン授業

テレビやタブレットの画面には、教師や友達、黒板などが映し出されます。



教師は別室から、指示を出します。



感染拡大防止対策のため、担任以外の教室への入室を制限(現在は解除)しました。担任以外の授業については、別室にいる教師と子どもたちをオンラインでつないで授業を実施しました。



子どもたちが誰もいな教室での授業は、やはりさみしいものです。



登校ができない学年は、学校にいる教師と自宅にいる子どもたちをオンラインでつないで授業を実施しました。オンラインではありましたが、先生や友達の顔を見ることができ、子どもたちの表情はとても嬉しそうでした。学校という場の大切さが実感できました。

このような学習ができるように自宅のネット環境を整えていただいた保護者の皆様には、深く感謝いたします。おかげで、子どもたちの学びを止めることなく、教育活動を進めることができました。今後も、授業や課題の配信等で、積極的にオンラインを活用していきます。